

大阪大学サステナビリティ・サイエンス研究機構デザインハウス講演会
「文理融合にもとづく人間の安全保障研究」
第1回ワークショップ ―安全と安心の科学をめざして―
講師 村上陽一郎先生（国際基督教大学教授・東京大学名誉教授）

【開催趣旨】

大阪大学サステナビリティ・サイエンス研究機構サステナビリティ科学技術開発工房プロジェクト
『人間の安全保障とサステナビリティ』

代表 小泉 潤二（大阪大学総長補佐 大学院人間科学研究科 教授）
峯 陽一（大阪大学大学院人間科学研究科 助教授）

私たちは、さまざまなリスクに取り囲まれています。地震や水害などの自然災害、エイズや鳥インフルエンザをはじめとする新興感染症、公共交通機関の事故、巨大科学技術の発展がもたらす複合事故、人間の生命の基礎であるはずの食や水の汚染や環境破壊、体と心を蝕む労働災害、広域的な経済危機の暴発、迫害やテロリズムといった政治的脅威… リスクの一覧表はいくらでも続きます。個人のリスクには個人が対応すればよいでしょう。しかし、私たちの暮らしが相互依存のうえに成り立っている以上、これらの現代的なリスクの大部分は、システムの改善と変革を通じなければ対応できないものです。こうした多様なリスクを背景に人々の「安全」を追い求めていく営みは、大阪大学の知的コミュニティの多彩な活動を結びつける触媒として機能していくことが期待されます。

「人間の安全保障」のアプローチが求める「安全」は、望ましい状態のひとつというだけでなく、諸学の分業を超えた共通の価値でもあると考えられます。エンジニアは安定的な工学システムの構築をめざし、医師は人間の体と心の不安全を除去しようとし、エコノミストはセイフティネットの必要を説き、政治学者はセキュリティを求め、人文学者は多様な文化の理解と共生を求めます。価値としての「安全」は、大学と社会をつなぐインターフェイスとしても重要です。「何のための科学技術か」という問いには多くの答え方があるでしょうが、説明責任の考え方がきわめて重要であること、そして、社会から科学への要請として「安全であるか」という基準がますます大切になっていることは、不可逆的な流れであるように思います。

「サステナビリティ」と「人間の安全保障」という二つのアプローチの相互関係についても、議論していく必要があるでしょう。持続可能性を模索する思考を、環境を軸としつつ、人間の社会や経済に広く適用していくことが大切になっていると考えます。持続可能なシステムは、未来へと向かう長期の時間軸のなかで、一人一人の人間に安全と安心を保障できるシステムでなければなりません。

「人間の安全保障」の概念は文系の共同研究の枠組みとしても注目されていますが、どのような学問分野であれ、「人間の安全」の研究は深いところで互いにつながるはずで、今回はとくに文理融合の枠組みにおいて、「科学と安全」という切り口を選び、様々な分野の研究者の出会いと意見交換の場を提供することになりました。メタ知識論としての「安全学」を提唱された村上陽一郎先生（国際基督教大学教授・東京大学名誉教授）をお招きし、安全、安心、リスクといった要素がどのような形で科学技術の再編を不可避にしているのか、どのような形で社会と科学の関係を問い直しているのかについて、問題提起を受けることにします。村上先生のお話のあと、大阪大学の研究者のコメントを経て、議論を開いていきます。

理系、文系を問わず、多くの皆さまのご参加を期待しております。

【開催日時】

平成 19 年 2 月 17 日 (土) 14:00~17:30

【開催場所】

大阪大学中之島センター 2階 講義室 1 <http://www.onc.osaka-u.ac.jp/index.html>

【主催】

大阪大学サステイナビリティ・サイエンス研究機構 (RISS)

サステイナビリティ科学技術開発工房プロジェクト『人間の安全保障とサステイナビリティ』

【プログラム】

司会： 峯 陽一 助教授 (大阪大学大学院人間科学研究科, 人間の安全保障論・平和構築論・開発経済学)

14:00~14:15 開会挨拶 小泉 潤二 教授 (大阪大学大学院人間科学研究科, サステイナビリティ・サイエンス研究機構 企画推進室員, 文化人類学)

14:15~15:45 基調講演:「安全と安心の科学をめざして」
村上 陽一郎 先生 (国際基督教大学教授・東京大学名誉教授)

15:45~16:00 休憩 (コーヒーブレイク)

16:00~17:15 コメンテーターからのコメントと会場からの質疑応答
コメンテーター:
盛岡 通 教授 (サステイナビリティ・サイエンス研究機構 企画推進室長,
大阪大学大学院工学研究科, 環境工学)

の場 梁次 教授 (大阪大学大学院医学系研究科, 法医学・社会医学)

小林 傳司 教授 (大阪大学コミュニケーションデザイン・センター,
科学技術社会論)

17:15~17:30 閉会挨拶 盛岡 通 教授

18:00~19:30 交流会 (会費 4000 円)

【参加申し込み方法】

ホームページからお申込みいただくか、下記の参加申込書をご記入いただき、FAXにてお申込みください。

大阪大学サステイナビリティ・サイエンス研究機構事務局 担当:元木, 磯田

WEB: <http://www.riss.osaka-u.ac.jp/jp/events/>

FAX: 06-6875-6271 (問合せ TEL: 06-6879-4150)

参加申込書 (FAXフォーム)

参加者氏名

所属

連絡先 〒

電話番号

FAX

EMAIL

交流会参加

参加

不参加